

GRI内容索引

項目番号	開示事項名	該当ページ	記載箇所
一般開示事項			
GRI 102 : 一般開示事項 2016			
開示事項 102-1	組織の名称	65	報告組織のプロフィール (商号)
開示事項 102-2	活動、ブランド、製品、サービス	7	日本製紙グループの事業概要
開示事項 102-3	本社の所在地	65, 裏表紙	報告組織のプロフィール (本社所在地)、 裏表紙 (本社所在地)
開示事項 102-4	事業所の所在地	2, 25, 30, 57	グループ会社の地域別内訳、生産拠点、 原材料調達の状態、海外植林事業、 地域別の海外子会社数と従業員数
開示事項 102-5	所有形態および法人格	65	報告組織のプロフィール (商号)
開示事項 102-6	参入市場	2, 7, 17	生産拠点、日本製紙グループの事業概要、ステーク ホルダーとの対話
開示事項 102-7	組織の規模	2, 7, 56, 65	生産拠点、日本製紙グループの事業概要、雇用デー タ、プロフィール (主要経営指標の推移)
開示事項 102-8	従業員およびその他の労働者に 関する情報	56, 57	雇用データ、雇用契約別の地域別従業員数
開示事項 102-9	サプライチェーン	10-11, 25, 26-27, 30	価値創出フローと社会的課題、 原材料調達の現状、持続可能な原材料調達、 海外植林事業
開示事項 102-10	組織およびそのサプライチェーン に関する重大な変化	2, 65	生産拠点、プロフィール
開示事項 102-11	予防原則または予防的アプローチ	26-27, 32-34, 35, 52, 53-55	持続可能な原材料調達、木質原材料調達に関するア クションプラン、(環境)方針とマネジメント、環 境負荷の低減、(人権、労働)方針とマネジメン ト、労働安全衛生
開示事項 102-12	外部イニシアティブ	20	国連グローバル・コンパクト
開示事項 102-13	団体の会員資格	WEB	データ編・会員資格を有する主な団体
開示事項 102-14	上級意思決定者の声明	4-5	トップメッセージ
開示事項 102-15	重要なインパクト、リスク、機会	4-5, 8-9	トップメッセージ、 CSR活動と企業価値の向上
開示事項 102-16	価値観、理念、行動基準・規範	5, 20, 21-22, 24, 32, 40, 47, 52, 53, 62	企業グループ理念、日本製紙グループ行動憲章、コ ンプライアンス、原材料調達に関する理念と基本方 針、日本製紙グループ環境憲章、生物多様性保全に 関する基本方針、製品安全に関する理念と基本方 針、人権と雇用・労働に関する理念と基本方針、安 全防災に関する理念と基本方針、社会貢献活動の理 念と基本方針
開示事項 102-17	倫理に関する助言および懸念の ための制度	21	グループ内部通報制度
開示事項 102-18	ガバナンス構造	14-16, 24, 32, 47, 53-54	コーポレートガバナンス、原材料調達マネジメント の推進体制、環境経営の推進体制、製品安全マネジ メント推進体制、労働安全衛生推進体制
開示事項 102-19	権限移譲	20, 24, 32, 44, 47, 53-54, 62	CSRマネジメント、原材料調達マネジメントの推進 体制、環境経営の推進体制、製品不具合発生時の対 応、製品安全マネジメント推進体制、労働安全衛生 推進体制、社会貢献活動の推進体制
開示事項 102-20	経済、環境、社会項目に関する 役員レベルの責任	24, 32, 47, 53-54	原材料調達マネジメントの推進体制、環境経営の推 進体制、製品安全マネジメント推進体制、労働安全 衛生推進体制

GRI内容索引

項目番号	開示事項名	該当ページ	記載箇所
開示事項 102-21	経済、環境、社会項目に関する ステークホルダーとの協議	17, 26-27, 34, 44-46, 52, 53-55, 60	IR活動、ステークホルダーとの対話、持続可能な原材料調達、環境コミュニケーション、（お客さま）方針とマネジメント、人権の尊重に向けた取り組み、労働安全衛生、労使関係
開示事項 102-22	最高ガバナンス機関およびその 委員会の構成	14-16	コーポレートガバナンス
開示事項 102-23	最高ガバナンス機関の議長	14-16	コーポレートガバナンス
開示事項 102-24	最高ガバナンス機関の指名と選出	14-16	コーポレートガバナンス
開示事項 102-25	利益相反	WEB , WEB	「コーポレートガバナンス基本方針」第10条、 「コーポレートガバナンス報告書」
開示事項 102-26	目的、価値観、戦略の設定における 最高ガバナンス機関の役割	14-16, 32	コーポレートガバナンス、環境経営の推進体制
開示事項 102-27	最高ガバナンス機関の集会的知見	14-16, 20, 32	コーポレートガバナンス、CSRマネジメント、 環境経営の推進体制
開示事項 102-28	最高ガバナンス機関の パフォーマンスの評価	14-16	コーポレートガバナンス
開示事項 102-29	経済、環境、社会への インパクトの特定とマネジメント	14-16, 20, 17-19, 26-27, 34, 44-46, 52, 53-54	コーポレートガバナンス、CSRマネジメント、ス テークホルダーとの対話、持続可能な原材料調達、 環境コミュニケーション、（お客さま）方針とマネ ジメント、人権の尊重に向けた取り組み、労働安全 衛生推進体制
開示事項 102-30	リスクマネジメント・プロセスの 有効性	14-16, 32	コーポレートガバナンス、環境経営の推進体制
開示事項 102-31	経済、環境、社会項目のレビュー	14-16	コーポレートガバナンス
開示事項 102-32	サステナビリティ報告における 最高ガバナンス機関の役割	12, 20, WEB ,	日本製紙グループのCSRにおける重要課題、 CSRマネジメント、 「コーポレートガバナンス基本方針」第3条
開示事項 102-33	重大な懸念事項の伝達	14-16, 20, 32	コーポレートガバナンス、CSRマネジメント、 環境経営の推進体制
開示事項 102-34	伝達された重大な懸念事項の 性質と総数	-	-
開示事項 102-35	報酬方針	14-16, WEB ,	コーポレートガバナンス、 「コーポレートガバナンス基本方針」第8条
開示事項 102-36	報酬の決定プロセス	14-16	コーポレートガバナンス
開示事項 102-37	報酬に関するステークホルダー の関与	-	-
開示事項 102-38	年間報酬総額の比率	-	-
開示事項 102-39	年間報酬総額比率の増加率	-	-
開示事項 102-40	ステークホルダー・グループ のリスト	17-19	ステークホルダーとの対話
開示事項 102-41	団体交渉協定	60	労使関係
開示事項 102-42	ステークホルダーの特定および選定	17-19	ステークホルダーとの対話
開示事項 102-43	ステークホルダー・エンゲージ メントへのアプローチ方法	12, 21, 17-19, 27, 34, 45, 52, 53-55, 56-60, 61-64	日本製紙グループのCSRにおける重要課題、グルー プ内部通報制度、ステークホルダーとの対話、木質 原材料調達に関するアクションプラン、環境コミュ ニケーション、お客さまのニーズの把握、人権の尊 重に向けた取り組み、労働安全衛生、活力ある職場 づくり、地域・社会への責任

GRI内容索引

項目番号	開示事項名	該当ページ	記載箇所
開示事項 102-44	提起された重要な項目および懸念	12, 21, 17-19, 27, 34, 45, 52, 53-55, 56-60, 61-64	日本製紙グループのCSRにおける重要課題、グループ内部通報制度、ステークホルダーとの対話、木質原材料調達に関するアクションプラン、環境コミュニケーション、環境教育、お客さまのニーズの把握、人権の尊重に向けた取り組み、労働安全衛生、活力ある職場づくり、地域・社会への責任
開示事項 102-45	連結財務諸表の対象になっている事業体	2, 3	日本製紙グループ主要会社と生産拠点、報告の対象組織
開示事項 102-46	報告書の内容および項目の該当範囲の確定	3, 10-11, 12, 17-19	編集方針、価値創出フローと社会的課題、日本製紙グループのCSRにおける重要課題、ステークホルダーとの対話
開示事項 102-47	マテリアルな項目のリスト	12	日本製紙グループのCSRにおける重要課題
開示事項 102-48	情報の再記述	-	-
開示事項 102-49	報告における変更	-	-
開示事項 102-50	報告期間	3	報告の対象期間
開示事項 102-51	前回発行した報告書の日付	裏表紙	発行年月
開示事項 102-52	報告サイクル	裏表紙	発行年月
開示事項 102-53	報告書に関する質問の窓口	裏表紙	問い合わせ先
開示事項 102-54	GRIスタンダードに準拠した報告であることの主張	3	編集方針
開示事項 102-55	GRI内容索引	WEB	GRI内容索引
開示事項 102-56	外部保証	-	※報告書の外部保証は受けていません
ステークホルダーとの対話			
GRI 103 : 一般開示事項 2016			
開示事項 103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	12, 10-11, 17-19	日本製紙グループのCSRにおける重要課題、価値創出フローと社会的課題、ステークホルダーとの対話
開示事項 103-2	マネジメント手法とその要素	13, 17	重要課題達成状況（経営に関わる責任）、基本的な考え方（ステークホルダーとの対話）、日本製紙グループのステークホルダーと対話窓口
開示事項 103-3	マネジメント手法の評価	13	重要課題達成状況（経営に関わる責任）
その他の開示事項			
持続可能な原材料調達			
GRI 103 : 一般開示事項 2016			
開示事項 103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	12, 10-11, 26-27	日本製紙グループのCSRにおける重要課題、価値創出フローと社会的課題、持続可能な原材料調達
開示事項 103-2	マネジメント手法とその要素	23, 24, 26-27	重要課題達成状況（原材料）、方針とマネジメント（原材料）、原材料マネジメントの推進体制、持続可能な原材料調達
開示事項 103-3	マネジメント手法の評価	26-27, 23	持続可能な原材料調達、重要課題達成状況（原材料）
(原材料) GRI 301 : 一般開示事項 2016			
開示事項 301-1	使用原材料の重量または体積	25, WEB	原材料調達の現状、データ編・マテリアルバランス
開示事項 301-2	使用したリサイクル材料	25, WEB , 39	原材料調達の現状、データ編・マテリアルバランス、リサイクルの推進
開示事項 301-3	再生利用された製品と梱包材	WEB , 39	データ編・環境保全効果、リサイクルの推進

GRI内容索引

項目番号	開示事項名	該当ページ	記載箇所
気候変動問題への取り組み			
GRI 103 : 一般開示事項 2016			
開示事項 103-1	マテリアルな項目とその 該当範囲の説明	12, 10-11, 36-38	日本製紙グループのCSRにおける重要課題、価値創 出フローと社会的課題、気候変動問題への取り組み
開示事項 103-2	マネジメント手法とその要素	31, 32-34, 36-38, 32-33,	重要課題達成状況（環境）、 方針とマネジメント（環境）、 気候変動問題への取り組み、環境経営の推進体制、 環境行動計画「グリーンアクションプラン」
開示事項 103-3	マネジメント手法の評価	32-33, 31, 36-38	環境行動計画「グリーンアクションプラン」、 重要課題達成状況（環境）、 気候変動問題への取り組み
(エネルギー) GRI 302 : 一般開示事項 2016			
開示事項 302-1	組織内のエネルギー消費量	36-38, WEB	気候変動問題への取り組み、データ編・マテリアル バランス、データ編・主要な環境パフォーマンス データの推移
開示事項 302-2	組織外のエネルギー消費量	-	-
開示事項 302-3	エネルギー原単位	-	-
開示事項 302-4	エネルギー消費量の削減	-	-
開示事項 302-5	製品およびサービスのエネルギー 必要量の削減	WEB	データ編・主要な環境パフォーマンスデータの推移
(大気への排出) GRI 305 : 一般開示事項 2016			
開示事項 305-1	直接的な温室効果ガス（GHG） 排出量（スコープ1）	36-38, WEB	気候変動問題への取り組み、データ編・マテリアル バランス、データ編・主要な環境パフォーマンス データの推移
開示事項 305-2	間接的な温室効果ガス（GHG） 排出量（スコープ2）		
開示事項 305-3	その他の間接的な温室効果ガス （GHG）排出量（スコープ3）	-	-
開示事項 305-4	温室効果ガス（GHG）排出原単位	-	-
開示事項 305-5	温室効果ガス（GHG）排出量の 削減	33, WEB	日本製紙グループ環境行動計画「グリーンアクショ ンプラン2020」における2017年度の進捗状況、 データ編・環境保全効果
開示事項 305-6	オゾン層破壊物質（ODS）の 排出量	35, WEB	化学物質の管理、データ編・PRTR制度対象化学物 質の排出量・移動量の一覧
開示事項 305-7	窒素酸化物（NOx）、 硫黄酸化物（SOx）、 およびその他の重大な大気排出物	WEB	データ編・環境保全効果、 データ編・マテリアルバランス

GRI内容索引

項目番号	開示事項名	該当ページ	記載箇所
環境負荷の低減			
GRI 103 : 一般開示事項 2016			
開示事項 103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	12, 10-11, 35	日本製紙グループのCSRにおける重要課題、価値創出フローと社会的課題、環境負荷の低減
開示事項 103-2	マネジメント手法とその要素	31, 32-34, 32, 34, 32-33, 35	重要課題達成状況（環境）、方針とマネジメント（環境）、環境経営の推進体制、環境コミュニケーション、環境行動計画「グリーンアクションプラン」、騒音・振動の防止、化学物質の管理
開示事項 103-3	マネジメント手法の評価	32-33, 31	環境行動計画「グリーンアクションプラン」、重要課題達成状況（環境）
（排水および廃棄物） GRI 306 : 一般開示事項 2016			
開示事項 306-1	排水の水質および排出先	WEB	データ編・環境保全効果、データ編・マテリアルバランス
開示事項 306-2	種類別および処分方法別の廃棄物	33, WEB	日本製紙グループ環境行動計画「グリーンアクションプラン2020」における2017年度の進捗状況、データ編・環境保全効果、データ編・マテリアルバランス
開示事項 306-3	重大な漏出	34, 35	環境コンプライアンスの強化、土壌汚染の防止
開示事項 306-4	有害廃棄物の輸送	-	-
開示事項 306-5	排水や表面流水によって影響を受ける水域	46	取水に関わる水需給リスク
生物多様性の保全			
GRI 103 : 一般開示事項 2016			
開示事項 103-1	マテリアルな項目とその該当範囲の説明	12, 10-11, 40-42	日本製紙グループのCSRにおける重要課題、価値創出フローと社会的課題、生物多様性の保全
開示事項 103-2	マネジメント手法とその要素	31, 32-34, 40-42, 32	重要課題達成状況（環境）、方針とマネジメント（環境）、生物多様性の保全、環境経営の推進体制
開示事項 103-3	マネジメント手法の評価	32-33, 31	環境行動計画「グリーンアクションプラン」、重要課題達成状況（環境）
（生物多様性） GRI 304 : 一般開示事項 2016			
開示事項 304-1	保護地域および保護地域ではないが生物多様性価値の高い地域、もしくはそれらの隣接地域に所有、賃借、管理している事業サイト	WEB	データ編・国内社有林のIUCN（国際自然保護連合）カテゴリーに関する構成
開示事項 304-2	活動、製品、サービスが生物多様性に与える著しいインパクト	28, 30, 40-42	国内社有林の持続可能な森林経営、海外植林地の持続可能な森林経営、生物多様性の保全
開示事項 304-3	生息地の保護・復元	28, 30, 40-42	国内社有林の持続可能な森林経営、海外植林地の持続可能な森林経営、生物多様性の保全
開示事項 304-4	事業の影響を受ける地域に生息するIUCNレッドリストならびに国内保全種リスト対象の生物種	-	-

GRI内容索引

項目番号	開示事項名	該当ページ	記載箇所
製品の安全性向上			
GRI 103 : 一般開示事項 2016			
開示事項 103-1	マテリアルな項目とその 該当範囲の説明	12, 10-11, 47	日本製紙グループのCSRにおける重要課題、 価値創出フローと社会的課題、 製品の安全性向上
開示事項 103-2	マネジメント手法とその要素	43, 44-46, 44, 47	重要課題達成状況（お客さま）、 方針とマネジメント（お客さま）、 製品の不具合発生時の対応、 製品の安全性向上
開示事項 103-3	マネジメント手法の評価	47, 43, 48	製品安全マネジメント推進体制、 重要課題達成状況（お客さま）、 紙パック製品の認証取得
(顧客の安全衛生) GRI 416 : 一般開示事項 2016			
開示事項 416-1	製品およびサービスのカテゴリーに 対する安全衛生インパクトの評価	44, 47	品質管理の取り組み、製品安全への取り組み
開示事項 416-2	製品およびサービスの安全衛生 インパクトに関する違反事例	-	-
製品の価値向上			
GRI 103 : 一般開示事項 2016			
開示事項 103-1	マテリアルな項目とその 該当範囲の説明	12, 10-11, 48-50	日本製紙グループのCSRにおける重要課題、価値創 出フローと社会的課題、製品の価値向上
開示事項 103-2	マネジメント手法とその要素	43, 44-46, 48-50	重要課題達成状況（お客さま）、 方針とマネジメント（お客さま）、 製品の価値向上
開示事項 103-3	マネジメント手法の評価	43, 44-46	重要課題達成状況（お客さま）、 方針とマネジメント（お客さま）
その他の開示事項			
労働安全衛生			
GRI 103 : 一般開示事項 2016			
開示事項 103-1	マテリアルな項目とその 該当範囲の説明	12, 10-11, 53-55	日本製紙グループのCSRにおける重要課題、価値創 出フローと社会的課題、労働安全衛生
開示事項 103-2	マネジメント手法とその要素	51, 52, 53-55	重要課題達成状況（人権と雇用・労働）、方針とマ ネジメント（人権と雇用・労働）、労働安全衛生
開示事項 103-3	マネジメント手法の評価	53-54, 51	労働安全衛生推進体制、 重要課題達成状況（人権と雇用・労働）
(労働安全衛生) GRI 403 : 一般開示事項 2016			
開示事項 403-1	正式な労使合同安全衛生委員会 への労働者代表の参加	53-54, 60	労働安全衛生推進体制、労使関係
開示事項 403-2	傷害の種類、業務上傷害・業務上 の死亡者数	55	労働災害の発生状況
開示事項 403-3	疾病の発症率あるいはリスクが 高い業務に従事している労働者	54	傷病リスクが高い業務への取り組み
開示事項 403-4	労働組合との正式協定に含まれて いる安全衛生条項	53-54, 60	労働安全衛生推進体制、労使関係

GRI内容索引

項目番号	開示事項名	該当ページ	記載箇所
活力ある組織作り			
GRI 103 : 一般開示事項 2016			
開示事項 103-1	マテリアルな項目とその 該当範囲の説明	12, 10-11, 56-60	日本製紙グループのCSRにおける重要課題、 価値創出フローと社会的課題、 活力ある職場づくり
開示事項 103-2	マネジメント手法とその要素	51, 52, 56-60	重要課題達成状況（人権と雇用・労働）、 方針とマネジメント（人権と雇用・労働）、 活力ある職場づくり
開示事項 103-3	マネジメント手法の評価	51	重要課題達成状況（人権と雇用・労働）
(研修と教育) GRI 404 : 一般開示事項 2016			
開示事項 404-1	従業員一人あたりの 年間平均研修時間	59	従業員一人あたりの研修時間
開示事項 404-2	従業員スキル向上プログラム および移行支援プログラム	56-60	活力ある職場づくり
開示事項 404-3	業績とキャリア開発に関して定期的な レビューを受けている従業員の割合	60	公正な評価・処遇
(ダイバーシティと機会均等) GRI 405 : 一般開示事項 2016			
開示事項 405-1	ガバナンス機関および従業員の ダイバーシティ	14, 57	コーポレートガバナンス体制、 年齢層別従業員数
開示事項 405-2	基本給と報酬総額の男女比	-	-
地域・社会との共生			
GRI 103 : 一般開示事項 2016			
開示事項 103-1	マテリアルな項目とその 該当範囲の説明	12, 10-11, 61-64	日本製紙グループのCSRにおける重要課題、価値創 出フローと社会的課題、地域・社会への責任
開示事項 103-2	マネジメント手法とその要素	61, 62, 63, 64	重要課題達成状況（地域・社会への責任）、方針と マネジメント（地域・社会への責任）、社会貢献活 動の推進体制、日本製紙グループの主要な社会貢献 活動一覧、地域・社会との共生、コーポレートアイ デンティティの共有
開示事項 103-3	マネジメント手法の評価	61, 62, 63	重要課題達成状況（地域・社会への責任）、 日本製紙グループの主要な社会貢献活動一覧、 地域・社会との共生
(先住民族の権利) GRI 411 : 一般開示事項 2016			
開示事項 411-1	先住民族の権利を侵害した事例	63	地域・社会との共生
(地域コミュニティ) GRI 413 : 一般開示事項 2016			
開示事項 413-1	地域コミュニティとのエンゲー ジメント、インパクト評価、開発 プログラムを実施した事業所	13, 17-19, 34	(経営) 重要課題達成状況、ステークホルダーとの 対話、環境コミュニケーション
開示事項 413-2	地域コミュニティに著しい マイナスのインパクト（顕在的、 潜在的）を及ぼす事業所	2, WEB	生産拠点、データ編・マテリアルバランス